

山本とも子



Vol.15



新型コロナウイルスに関する相談窓口のご案内 (令和2年3月25日現在の情報です)

健康相談窓口

- 大阪市 新型コロナ受診相談センター
[受付時間] 24時間 ☎06-6647-0641
- 北区保健福祉センター ☎06-6313-9882

事業者向け相談窓口

- 中小企業・小規模事業者相談窓口
[場所] 大阪府よろず支援拠点
(大阪市中央区本町1-4-5 大阪産業創造館2階)
☎06-4708-7045

事業者 金融支援 詳細はHPまで

- 大阪市経済戦略局産業振興部企業支援課
☎ <https://www.sansokan.jp/>
- 日本政策金融公庫
☎ <https://www.jfc.go.jp/>

外国人のための相談窓口 (公益財団法人大阪国際交流センター)

[受付時間] 9時~19時(月~金曜) 9時~17時30分(土・日・祝日)
☎06-6773-6533 ☒center@ih-osaka.or.jp

多言語対応



生活福祉資金貸付制度の特例の概要

対象者	緊急小口資金	総合支援資金(生活支援費)
	一時的な資金が必要な世帯 (主に休業した人向け)	生活の立て直しが必要な世帯 (主に失業した人向け)
貸付上限	● 個人事業主や、学校休校の影響を受けた世帯 ▶ 20万円 ● その他の世帯 ▶ 10万円	● 2人以上の世帯 ▶ 月20万円 ● 単身 ▶ 月15万円 ※ 貸付期間は原則3カ月以内
償還期限	2年以内	10年以内
据置期間	1年以内	
貸付利子	無利子	

新型コロナウイルスの感染拡大の影響による休業などで収入が減り生計が苦しくなった場合、生活福祉資金貸付制度の「緊急小口資金」が活用できます。



事前に電話予約が必要です

【申込先】

北区社会福祉協議会 ☎06-6313-5566
北区役所 自立相談支援窓口(3F/30番) ☎06-6809-2814

民生保健委員会質疑

令和2年3月9日

受動喫煙防止対策について

Q1 本年4月から、改正健康増進法の全面施行に伴い、屋内での喫煙は喫煙専用室でしかできない、また、喫煙エリアには喫煙可能であるとの標識の掲示が義務付けられ、20歳未満は立ち入り禁止など、罰則対象となるが、電子たばこ加熱式たばこはどう違うのか?法や府条例ではどんな規制があるのか。

A1 電子たばこは事業法上たばこではなく、改正法や府条例でも規制の対象外となっている。一方、加熱式たばこは、規制の対象である。

要望

電子たばこも加熱式たばこも、煙が出ない為、子どもの前で吸うなど知らないうちで受動喫煙を生じさせている恐れもあるので、未成年者にもたばことして認識して、喫煙のきっかけとならないようにしっかり周知啓発を行っていただきたい。

大阪市における在宅医療と介護連携の推進について

Q1 大阪市における在宅医療と介護連携の取組状況や課題に対してどのような取組みをしているのか。

A1 区内における連携は進んできたものの、退院の際の区域を越えた関係機関との連携が課題となる。広域連携の課題に対して、今年度、4つの市内基本保健医療圏ごとに多職種研修会を開催し、医療・介護等の専門職の区域を越えた関係づくりを支援いたしました。医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者等が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域の医療・介護の関係機関が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療と介護を一体的に提供できる体制を構築していく。

認知症施策の推進について

Q1 我が会派の要請により、認知症の人自らが他の認知症の人やその家族の相談を受けるピアサポート活動を行う「ゆっくりの部屋」が開設された。認知症があっても無くても同じ社会の一員として地域を共に創っていくよう、より一層の啓発が必要と考える。

A1 地域にしっかり根を張った活動を進めると共に、9月21日の世界アルツハイマーデー及び毎年9月の月間などの機会をとらえて、認知症に関する普及・啓発を集中的に行うことを検討する。

要望

私はオレンジサポーターのご協力をいただき、認知症当事者による認知症議会を本会議場で開催できないかと本気で考えています。「私、認知症やねん!」って心配せずに話せる大阪市になることを期待しています。

前立腺がんの検診について

Q1 前立腺がん検診の制度設計にあたり、現段階ではどのような方法を考えているのか。

A1 50歳を始期とする内容で検討を進めていくべき。専門家の意見も踏まえ検討したい。検査方法については、血液検査が早期発見をする上で有用であることから優先的に検討。自己負担額については、受益と負担の観点からも十分な議論を要する。できるだけ早期に外部専門家の意見聴取の場を設定し、十分な検討を重ねていきたい。



子宮頸がんワクチンの接種について

Q1 子宮頸がんは、若い女性がかかる「がん」の中では、乳がんに次いで多く、年間2,900ものがんが亡くなっている。予防のためのワクチン接種を無料で受けることができるが、接種した人は対象者に対して1.2%ほどと、余りに少ない。

A1 副作用と思われる事例が相次いだことを受け、ワクチン接種を積極的には勧めていない。

Q2 積極的には勧めていないとの事だが、対象となる小学6年生から高校1年生の方や、保護者はワクチン効果や接種方法等について十分認識されているか？周知が必要であると思うが？

A2 委員ご指摘の通り、対象者や保護者に対して確実に情報を届けることは大変重要であると認識しています。大阪市教育委員会事務局と連携し、関連施設等へのチラシの配布及び学校での情報掲示等について検討していきます。

要望

子宮頸がんは、罹患年代のピーク率も年々下がり、低年齢化が指摘されている。正しく理解することが重要であり、接種の判断を保護者と一緒に話し合い、しっかり考える機会を性教育にも通じるところです。将来もしも、子宮頸がん罹患した時「子宮頸がん予防ワクチンの定期接種がある事を知っていたら…」と後悔させないためにも、確実な周知と共に正しく理解して頂けるよう、お願いいたします。

その他の質疑

- 成年後見制度利用促進のための市民後見人のさらなる活用の必要性について
- 安全安心な生活衛生の確保、カンピロバクター食中毒に関する取り組み
- ひきこもり支援の取組み強化について
- 高齢者用肺炎球菌ワクチンについて
- 障がい者手帳のカード化について

SDGsへの取組み

ペットボトルキャップ(エコキャップ) プルタブの回収

大阪市北区社会福祉協議会ではペットボトルキャップ・プルタブの回収に取り組まれています。回収されたキャップ等は、障がい者就労支援施設にて選別、粉碎、換金され、その一部を「世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)」へ寄付されます。



5人の子どもの
ポリオワクチン

100円

= 6円

キャップは1kg

= 20円

プルタブは1kg

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



地域有志の方とキャップの回収に取り組む、今回2回目になるキャップの持ち込みを行いました。この取組みはSDGsにおける3つの目標にアプローチしています。



すべての人に
健康と福祉を



つくる責任
つかう責任



パートナーシップで
目標を達成しよう



防災への取組み

令和2年2月15日、北区防災フォーラムが開催されました。公明党では、災害が起こった際の避難所生活に女性の視点を生かした機能の拡充に取り組んでいます。その中で、乳幼児用液体ミルクは常温保存が可能で、災害時でもすぐに飲むことができます。今後も乳幼児液体ミルクの備蓄が各自治体でも進むよう、取り組んでまいります。



交通安全対策

人通りの多い、天神橋筋商店街と天神橋筋を繋ぐ歩行者用信号機。東西南北で同時に歩行者信号が青になるため、人と自転車が交差する形になり、衝突事故等多発する交差点になっていました。地域の方からご相談を受け、管轄警察署と連携し、青信号の表示のタイミングをずらす工事をしていただきました。安心して渡ることができるようになったとの声を寄せていただきました。



(表示変更箇所) 天神橋4丁目北交差点・天神橋5丁目交差点・天神橋5丁目北交差点

お気軽に
ご相談
ください

山本とも子市政事務所

〒530-0041 大阪市北区天神橋4-8-8 第2平川ビル5FA
TEL. 06-4800-6001 FAX. 06-4800-6002

